

授業名(時間割 表記)	コミュニケーションスキルアップ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片岡紀予
学科・コース	eエンターテインメント科昼二1年A	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 1		
教員の略歴	北里大学卒業後、日油株式会社勤務。キャリアコンサルタント。精神福祉士取得、コミュニケーション、心理学講師						
授業の学習 内容	社会人になるための基本的なコミュニケーション力をつける。今後の研修、就職活動に向けて自己理解を深め、自分の長所や短所の理解を深めておく。チームで動く力をつけるため、グループワーク中心の授業となる。更にプレゼンテーション、チーム企画などのグループ活動を行う。						
到達目標	前期は自己理解、他者理解を深めることでコミュニケーション力を上げていく。後期はCSU検定の合格、履歴書を書けるだけの自己理解、就職活動に活かせるコミュニケーション力をつけていく。						
評価方法と基準	テスト結果30% 授業態度70%(つぶやきメモの振り返りを含む)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/15	グループワーク	授業内容説明、自己紹介ワーク	教科書 1 章を読む
2	4/22	グループワーク	好きな物マップ。自分を知ってもらう	教科書2章を読む
3	5/7	グループワーク	WHO am I. 自己分析	教科書2章を読む
4	5/13	個人ワーク	エゴグラム。心理テスト	自己分析のまとめ
5	5/20	グループワーク	ジェスチャーゲーム、模擬店	教科書 3 章を読む
6	5/27	グループワーク	言葉で伝える図形	教科書2章を読む
7	6/3	プレゼン	おいしいもの自慢。プレゼン基礎	プレゼンテーションについて調べる
8	6/17	グループワーク	日常行動テスト。自己分析	普段自分を理解するように意識する
9	6/24	グループワーク	なぞの宝島（またはわたしのイメージ）	教科書 3 章を読む
10	7/1	グループワーク	ストローク。肯定的関り	普段肯定的関りを意識する
11	7/8	グループワーク	もし～がなかったら。プレスト会議の基礎	教科書 3 章を読む
12	7/15	グループワーク	H o w m u c h 価値観	他者との価値観の違いを意識する
13	8/26	グループワーク	わたしのイメージ1(NASA)	教科書 3 章を読む
14	9/2	グループワーク	わたしのイメージ2(NASA)	教科書 3 章を読む
15	9/9	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	デッサンⅠA	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	山崎隆
学科・コース	eエンターテインメント 科昼ニ1年A	授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
教員の略歴	1981武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 1982～2003 同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習 内容	描くことへの先入観や苦手意識を取り省きながら、簡単な形態から徐々に難しいものの描写へと進める						
到達目標	①遠近法をしっかりと理解する ②立体的にモチーフを観察できる ③存在感のあるしっかりとした描写が出来る						
評価方法と基準	①各授業ごとの理解度 ②前期2回程度のコンクール形式の作品の点数						

授業計画・ 内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	#####	実習	基本的道具の使用方法 ケント 紙による立方体の作成	無し
2	#####	実習	立方体の描写	無し
3	5月9日	実習	黒長靴の描写	無し
4	5月16日	実習	遠近法・1	無し
5	5月30日	実習	遠近法・2	無し
6	6月6日	実習	遠近法・3	課題の提出
7	6月20日	実習	量感のあるモチーフ・1	無し
8	6月27日	実習	量感のあるモチーフ・2	課題の提出
9	7月4日	実習	コンクール	無し
10	7月11日	実習	クロッキー(友人)	無し
11	7月18日	実習	友人像	無し
12	8月29日	実習	自画像	無し
13	9月5日	実習	自由課題	課題の提出
14	9月12日	実習	コンクール	無し
15	9月19日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【 使用教科書・ 教材・ 参考書】				

科目名	デッサンⅡA	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	山崎隆
		授業 形態	実習	総時間 (単位)	60 2		
学科・コース	eエンターテインメント 科屋ニ2 年A						
教員の略歴	1981 武蔵野美術大学大学院造形研究科修了 1982～2003同大学共通彫塑研究室助手・講師						
授業の学習 内容	①人体や自然をより 深く 観察したい ②全ての教科 ③画面構成、構図を含めた表現力をつける ④屋外での実習を含め、より大きなモチーフに挑戦する						
到達目標	1 学年で学んだ基礎の上に形式にとらわれず自由に表現する力を身につける						
評価方法と基準	各授業の理解度また前期を通じての総合的な理解度						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月19日	実習	自分の手をモチーフとする	課題の提出
2	4月26日	実習（屋外）	風景デッサン・1	
3	5月10日	実習（屋外）	風景デッサン・2	
4	5月17日	実習（屋外）	風景デッサン・3	
5	5月24日	実習（屋外）	風景デッサン・4	課題の提出
6	5月31日	実習	細密描写・1	
7	6月14日	実習	細密描写・2	課題の提出
8	6月21日	実習	クロッキー	課題の提出
9	6月28日	実習	人体（モデル）	課題の提出
10	7月5日	実習	植物・1	
11	7月12日	実習	植物・2	
12	7月19日	実習	植物3	課題の提出
13	8月30日	実習	自由課題・1	
14	9月6日	実習	自由課題・2	課題の提出
15	9月13日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【 使用教科書・教材・参考書】				

授業名(時間割 表記)	デッサンⅢB	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	荒井
学科・コース	eエンターテインメント科昼二3年A	授業形態	実習	総時間 (単位)	90 3		
教員の略歴	長年TCAのデッサン講師を務める						
授業の学習 内容	デッサンはあらゆるビジュアル表現の基礎、画力、構成力を身につけるため沢山描くことにより上達する						
到達目標	様々な対象、空間を時間をかけた密度の高い絵、短い時間で素速く描くクロッキーなど時間に応じた描写力を習得する						
評価方法と基準	課題提出数 課題評価点数						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/17	講義と実習	幾何学形態を描くⅠ 直方体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
2	4/24	講義と実習	幾何学形態を描くⅡ 回転体の遠近法	図学遠近法の復習と身近なものを描く
3	5/8	実習	風景を描くⅠ 空間の遠近法	遠近法を意識して風景を描く
4	5/15	講義と実習	図学遠近法の実践Ⅰ 工業製品をモチーフに	日用品を描く 四角いもの
5	5/22	実習	図学遠近法の実践Ⅱ 日用品をモチーフに	日用品を描く 丸みのあるもの
6	5/29	実習	図学遠近法の実践Ⅲ 空間と物質の表現	手前と奥に距離を置きものを描く
7	6/5	講義と実習	身体描写Ⅰ 自画像or身体パーツ	手、足、目、耳など細密描写する
8	6/19	実習	身体描写Ⅱ クラスメートを描く	身近な人をモデルにクロッキー
9	6/26	実習	身体描写Ⅲ 女性ヌードクロッキー	人物写真の模写
10	7/3	実習	自然物の描写Ⅰ 花など 質感表現	野菜果物を描く
11	7/10	実習	自然物の描写Ⅱ 野菜など 質感表現	野菜果物を描く
12	7/17	講義と実習	白い物体を描く 形と立体感の表現	白い紙を丸めて描く
13	8/28	実習	石膏デッサン トルソー	白い紙で包んだものを描く
14	9/4	実習	つづき	
15	9/11	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】				
鉛筆セット カッターナイフ 練りゴム 消しゴム クロッキー帳				